

高校生ワークショップ アンケート結果

1、 あなたが今日、気がついたことは？

(自分について)

- ・ 他の高校の人たちの意見を聞き、福島での活動を多くやりたいと思った。
- ・ 福島の課題について、沢山の意見が聞いて参考になった。
- ・ 一人では見えないものが、皆で考えることで見えるようになった。
- ・ 自分たちにできることは、たくさんある。
- ・ 高校生にもできることはある。
- ・ 自分が「福島を知らない福島県民」だと思った。
- ・ 議論するなかで、自分は福島県が好きなのだとことを再確認した。
- ・ 10年間の計画を考えることで、運命・生き方・福島が変わると思った。
- ・ 高校生の考えを述べることで、地域を動かせられるという期待をもてた。
- ・ 学校や家でも、少しずつ話し合いたいと思った。
- ・ 解決できる方法を皆で探すことができた。
- ・ 自分では想像もつかなかった事や新しい視点からの意見を沢山自分の中に取り入れることができた。
- ・ 自分たちで何ができるかが分かった。
- ・ 沢山の人が集まって、知恵を出し合うことができたことで、できることが広がった。
- ・ みんなが熱心に福島のこれからについて考えていて、自分も頑張ろうと思った。
- ・ 自分一人では全く福島のことについて考えることはないが、こうしてみんなと話し合うことで、たくさん意見を出すことができた。
- ・ 自分たちが、これからの福島を作っていくんだという気持ちに改めて気づいた。
- ・ 福島は、良い所と悪い所があって、自分たちがどうにかしていかないと思った。
- ・ 福島県を知っていることに自信があったが、まだ全然知らないことが多くショックだった。
- ・ 直接会って話すことの大切さ。
- ・ 自分たちにもできることがあるということ。
- ・ 高校生ができることは、思ったより多くあった。
- ・ 日頃、福島について考えている時間が少ないこと。

- ・ 意外と福島について知らなかったということ。
- ・ 高校生にできることは少ないと感じていましたが、他校の生徒さんの意見を聞き、出来ることはいっぱいあったのだと気づけた。
- ・ 地域を発信し知ってもらうためには、まずは自分が正しい情報で地域について知ること。
- ・ 高校生から地域の情報を発信していくことが意外と福島にとって大きく良い影響につながるかもしれないということ。
- ・ 地元の人が地元について考えることの重要性。
- ・ 身近な所にも色んな課題があり、それらが自分たちでも解決できること。
- ・ 地域ごとに福島の長所だととらえているものは違っていて、まだまだ自分が住んでいる県について知らない部分が多いこと。
- ・ 自分たちの良い所をもっと多くの人に伝えるべきだなと思った。
- ・ 福島の問題を自分たちが大人になったとき、少しでも改善したいと思った。
- ・ 自分の意見と皆の意見を組み合わせれば、多様な素晴らしい意見が出るということ。

(みんなについて)

- ・ 知識や熱意を持っている人が、こんなにたくさんいるとは知らなかった。
- ・ 「福島の社会」について考えている人が多かった。
- ・ それぞれ意見をもっていて、たのもしかった。
- ・ 自分と同じような意見を持っている人もいれば、様々な意見もあることに気づいた。
- ・ 意欲と力がある人が多くいることに気づき、良かった。
- ・ 一人一人、福島に対しての印象・要望があって、優劣はつけられないし、どれも大切なことだと感じた。
- ・ こんなにも福島についてみんな考えているのだなと感じ、うれしく思った。
- ・ 自分とは違う考え方や価値観を知った。
- ・ 同じ高校生でも考えていることがちがっていたこと。
- ・ 高校生ではあるものの、できることは沢山あるし、すべきことでも沢山あると知り、地域の活性化に役立てたいと思えた。
- ・ 高校生だから出来ないと思ってあきらめていたことが多かったけど、逆に高校生だからこそ考えられる柔軟な発想に気づくことができた。
- ・ みんなで話し合うと大きいこともできると分かった。
- ・ 福島の未来について深く考えている仲間が沢山いた。

- 相手の意見を尊重することも大事。
- 一人一人、意見が違うので話すのがとても楽しかった。
- それぞれ福島の事を奥深くまで考えているのに、このような機会が少なく、もったいないなと思いました。
- 私たちにできることも無数にあり、またそれを一つでも見つけ、実行することは世界を変える力にもなる。

(福島について)

- 福島のことを詳しく知ることができた。
- 福島には、たくさんの魅力、問題があることが改めて分かった。
- 福島の未来について自分の考えが、きちんとまとめる事ができて、福島の魅力が伝わった。
- 福島には課題や、良い所が沢山あるということ。
- 福島県のたからものや課題がたくさんあったこと。
- 自分が知らなかった福島の魅力を発見できた。
- 福島にはたくさんの宝物があるんだなと気づいた。
- 福島には課題がたくさん。
- 福島県には、まだ気をつけなければいけない課題がたくさんあったこと。
- 今日やってみて、魅力に気づけた
- 生活環境が異なっても共通した課題が見つけれられたこと。
- 県という大きなくくりで考えるべき課題と地域特有の課題両方が存在していて、自分が認知できている福島の課題は氷山の一角に過ぎないのだということ。
- 現状維持ではなく、未来発達しようとしている姿。
- 地域の活性化がまだまだ足りないと感じた。
- 福島の良さを再確認できた。
- 正直、福島県の魅力や特徴は他県に比べて少ないものだと思っていましたが、他地区の方の意見を聞く中で、こんなものもあるんだと、魅力を新たに知ることができた。
- 自分の意見を言うだけでなく、みんなの意見を聞く事で、自分の知らない福島について知る事が出来た。
- 福島県が自分の思っていたよりも深刻な状態であること。

2、 あなたが今日、嬉しかったことは？

(新たな発見・気づき・深化)

- ・ 他の意見を聞いて、多くの発見があった。
- ・ 同年代と色々な話が聞けたこと。
- ・ 多くの人々が課題について真剣に考えていたこと。
- ・ 新しいことを考えることができたこと。
- ・ 同じ年齢層の人たちの意見深めることができ、同じ意見、違う意見があって嬉しかった。
- ・ 自分一人だけでは絶対出ないような考えを聞けて、考えの幅が広がった。
- ・ 福島について皆で考え、話し合い、認め合うことができたこと。
- ・ 話し合いの中で時間を余すことなく、福島についての意識を交換できたこと。
- ・ 福島の事を知ることができた。
- ・ 和やかな雰囲気での話し合いができたこと。
- ・ 他校の生徒とたくさん話すことができ、福島について考えることができた。
- ・ いろいろな人の良い所を見れたこと。
- ・ 自分にはない考えが得られたこと。
- ・ 初対面の人と話せたこと。
- ・ 県の魅力に人柄が入っていたこと。
- ・ 様々な地域に住む高校生の意見を知ることができ、これからの福島を考える新たな視点をたくさん得ることができたこと。
- ・ 地域を活性化させるために私たちにも出来ることがあると気づけたこと。
- ・ 自分とは違う地域の人や色々な考えの人と話し合うことで、視野を広げることが出来、有意義なワークショップになったこと。
- ・ 自分が前から思っていた福島の改善点がみんなと同じで、共感できたこと。
- ・ 意見と意見とを束ね、より高みへ押し上げた瞬間。

(“仲間” との交流)

- ・ 福島の将来についての意見も同じ意識を持つ人同士で共有できたこと。
- ・ 福島を一緒に引っ張っていく“仲間”が増えたこと。
- ・ 他の地域の方とつながり話し合うことで、お互い多くのものを得ることができたと思うし、仲間意識が強まった。

- ・ 他的高校の人たちと意見を交流することができたこと。
- ・ 他校との色々な人と交流できたことが嬉しかった。
- ・ 福島について、たくさんの高校生と話し合えたこと。
- ・ たくさんの人が集まりみんなやる気をもって意見交換ができたこと。
- ・ 他校の人とワークショップのことだけでなく、いろんなことを話すことができたこと。
- ・ 自分が発言したときに共感してもらえたこと。
- ・ 知らない人と交流を深められたこと。
- ・ 他校の生徒さんと仲良くなれるか心配がありましたが、沢山の生徒さんと話せて嬉しかった。
- ・ 福島の魅力を知れたこと。
- ・ 他校の生徒さんと沢山交流し、話せたことで、福島の事をより考え直すことができて良かった。
- ・ 自分の意見をより良いものに変えてもらえたり、別の考え方を知ることができた。
- ・ 自分の地元について知ることが出来た。
- ・ 福島について、良く知り、良さを実感することができ、とても嬉しかった。
- ・ どの生徒も、自分の意見を話し、そのために十分に考えを深められたこと
- ・ 未来について考えていることを他の学校の人と共感しながら自分の考えをよりよいものにできたこと。
- ・ いろんな意見を聞くことができて、様々な面での視野が広がったこと。
- ・ 他校との交流はあまりないので、ありがたかった。
- ・ 自分の気持ち、意見を共有できる仲間がいたこと。

(貴重な体験)

- ・ 他の方の意見を聞くことができ、充実した時間を過ごすことができた。
- ・ たくさんの人々と関わることができたし、自分らしいことが言えた。
- ・ みんなで福島の事について考えられたり、取り組めたこと。
- ・ 福島の行政の方に私たちの思いをきいてもらえたこと。
- ・ 自分の考えを最大限出すことができた。
- ・ 楽しく意見交換できて、とても良い経験ができた。
- ・ お互いの思いを存分に話し、最終的に文字という形に残せたこと。

- ・ 自分も考えていることを気軽に話すことができたこと。
- ・ 同世代の子とまじめな話げできた。
- ・ ずっと抱いていた地域が、過疎化、少子高齢化していることへの不安を高校生と共有できたこと。
- ・ 自分が福島県の総合計画に関わることができたこと。
- ・ 浜のほうに住んでいるからなかなか市内の人と関わりが少ない中で、いろいろな人が自分の意見に耳を傾けてくれたり、その意見に上乘せしていつてくれたのが嬉しかった。
- ・ 自分と同じ意見を持っている人、正反対の意見を持っている人、考えたことがなかった視点で物事を見ている人など、様々な人と意見交換ができたこと。
- ・ ワークショップが楽しかった。
- ・ みんなフレンドリーで楽しくワークショップに取り組むことが出来た。
- ・ 決して一つの答えではなく、みんなの意見が聞けて嬉しかった。

3、 あなたが今日、悲しく思ったことは？

（“わたし”の改善点）

- ・ あまりうまく話すことができなかった。
- ・ 自分が何も知らなかったこと。
- ・ 自分の意見 100%伝えることができなかった。
- ・ 自分が思ったよりも無関心すぎたこと。
- ・ 自分の知識がまだ乏しいこと。
- ・ もう少し、自分の意見をだしたい。
- ・ もう少し、内容の濃いことを言えたらよかった。
- ・ 福島について知らなかったところがあった。
- ・ 自分の伝えたいことが、うまくまとまらず、グループの人に任せっきりになってしまった。
- ・ 最初の方で積極的に意見を出せなかった。
- ・ もっと積極的に自分の意見を言えたらよかった。
- ・ 意見が素晴らしく、圧倒されて自分がうまく話せなかったこと。
- ・ 自分の意見が社会に関わる大きなことばかりで、身近に感じられるものが少なかった。

（“みんな”の改善点）

- ・ 自分たちだけでは、どうにもできない問題があったこと。
- ・ 福島から流出していく人が多いのは分かっているが、どうすれば良いのか答えが出せなかったこと。
- ・ 福島が抱える多くの問題を確認し、少し不安になった。
- ・ まだ、被災している人達がいることが悲しかった。
- ・ 福島の問題は、たくさんあっても、自分にできることは少ないということ。
- ・ 私が思っていた課題の解決方法を見つけられなかったこと。
- ・ あまり福島に魅力がないこと。
- ・ 自分たち一人ができることに限りがあること。
- ・ 福島県は、いくつかの項目で全国で下のほうなのだと知ったこと。
- ・ 高校生にできることが小規模で本当に改善につながるか不安に感じた。
- ・ これからの福島にはまだ問題があること
- ・ 復興にはまだまだ時間がかかること。
- ・ 生活面や経済面の課題が多かったこと。
- ・ 高校生にできることは、簡単にできそうで、実は勇気がいるなど感じた
- ・ もっと人気が出ても、良い県なのにと改めて思って悲しくなった。
- ・ 環境問題で人口も減少している福島。
- ・ 福島の現状を聞いて少し悲しくなった。
- ・ 風評被害が現在も根強く残る現実を知ったこと。

（“ワークショップ”の改善点）

- ・ これが今回で終わること。
- ・ 時間が短かった、もっと回を重ねてやりたい。
- ・ 強いて言えば、もっと話したかった。
- ・ 時間が短い。
- ・ 時間的に、浅い議論で終わってしまうことが多々あり、深いレベルでの相手との対話や意見交流ができなかったのが残念。
- ・ この話し合いが終わったらもう集まる機会がないこと。
- ・ 言いたいことがあっても、それをどう伝えたらいいのか分からなくなってしまった。
- ・ もう少し深く話したかった。

- ・ 時間がもっと長かったら、もっと深く話せた。
- ・ もっと色々な人と交流したかった。
- ・ 大人が僕らの意見をどう捉えたかが知りたかった。
- ・ この人数でしかできなかったこと。
- ・ 今回のワークショップの時間が少なかったこと。
- ・ もっとたくさんの大人の方に聞いていただきたかった。
- ・ もっとたくさんの高校生が参加すれば、福島の未来がそれぞれ近づいて、福島を知り、考えられるのではないかと感じた。

4、 あなたが今日、言い残したことは？

(福島県に関して)

- ・ 環境問題は自分たちで取り組まなければならない大きな問題だと思う。
- ・ 農業は良い所多いです。
- ・ 課題を明確にしよう。
- ・ 今日の活動で出たことを最初に実際に行動に移すことができるのは自分。ぜひ行動に移し、実現させたい。
- ・ 高校生が情報発信すると、善志のある人が「高校生」ということで、見てくれると思います。ですが、無関心層には、あと一步届かないと思います。高校生だけでなく、その手のプロを雇って、色々なひとをひきつけてほしい。
- ・ 福島県を PR する CM を作りたい。
- ・ もっと、この輪を広げれば実現につながると思う。
- ・ もっと子供たちが発信できる場を増やして、高校生、中学生くらいからフレキシブルな意見を集めてほしい。福島県内には、もっと有意義な方はたくさんいると思う。
- ・ 福島県に住んでいて良かったです。
- ・ 福島の復興は続いているので、自分にできることをしていく。
- ・ 自ら積極的に行動し、地元から活発にし、福島県全体を元気にしていきたいと思いました。
- ・ 自分は将来、福島から出るつもりだが、それまでにやれることはしたい。
- ・ 進路について考え直すことができた。
- ・ 一人一人の意見が違っていて、改めて自分の意見を見直すことが出来た。

- ・ 正直、僕自身は今の福島にあまり良い思いを抱けていない。具体的には、福島県の教育システムに魅力を感じることができないからだ。ほかの自治体との格差も感じている。今回の総合政策策定では、未来の子供たちのためにも、魅力ある教育に関する政策が作られることを期待している。
- ・ みんなが住みやすく、ずっといたいと思ってもらえる福島になるように小さなことでも協力したい。
- ・ 高校生のボランティア、飯坂で結構やっているから、もっと増えると良いな。
- ・ 地域の事を調べて、知って良い所を伝えたり、今日学べたことを活かしたい。
- ・ 福祉コースを選択していて県の福祉についても知る機会があるが、明らかに少子高齢化は進んでいるし、大変な部分も多いと思うが、医療費を18歳未満を無料にすることは今後もぜひ、続けてほしい。
- ・ また、今日集まった人たちを中心に、沢山の高校生と交流して、たくさん意見を自分の知識として、将来に役立てることができたら、地元だけじゃなくて色々な所が活性化するなと思いました。
- ・ 今日学んだことは、実行してこそ生きることだから、情報を共有していきたい。また、政治にも積極的に関わっていきたい。

(ワークショップに関して)

- ・ また来年も来たいと思った。
- ・ 自分の思うことは全ていうことができた。
- ・ お互いに繋がりを断ちたくないと思った。
- ・ また、こういう会をしたい。
- ・ みんなと話すことができ楽しかったし、会えて良かった。
- ・ とても楽しかったです。
- ・ 初対面の人ばかりでしたが、色々な人と交流したり、福島の魅力を再確認できて、とても充実した時間を過ごすことができました。
- ・ また、このような話し合いが欲しいということ。
- ・ 様々な地域から来た高校生と意見交換が、意見の共有ができた。
- ・ 他校とのワークショップ的な話し合いをもっと取り入れるといいなと感じました。
- ・ グループになって話したことで自分の思っていることを沢山話せました。
- ・ また、このようなイベントに参加したい。
- ・ もっともっと他校の人たちと交流がしたかった。

- ・ 質問の時間が1分でもあれば、もっと楽しくなると思います。
- ・ 疑問に思ったことをもっと質問すればよかったと思う。
- ・ また、このような会を開いていただければ、また参加したいなと思います。
- ・ こういった機会をもっと増やしたい。「若い」とことをもっともっと有効活用。
- ・ たくさんの方とグループワークができ、本当に楽しかったです。
- ・ 地方独特の文化、民俗行事の継承など、どうしていくか話してみたかった。
- ・ もっと「Why：なぜ」を問う時間があつたら良いと思いました。

5、 その他、何でもどうぞ。

- ・ また、機会があれば意見を出して話し合いたい。
- ・ 貴重な時間をありがとうございました。
- ・ 今日学んだことを皆で共有できたらいいなと思います。
- ・ 元々、福島県庁の職員になりたいと思っていたのですが、その思いが今日の活動を通して、より強くなりました。
- ・ もっと他地域とつながるイベントが増えるといいなと思います。
- ・ このような機会があると、考えを深めることができたため、これからも続けてほしい活動だと思う。
- ・ また交流をしたい。
- ・ またこのような機会があれば参加したいです。
- ・ また来たいです。
- ・ これからも話し合いの場を設けていただきたいです。
- ・ 今回は、とても良い経験をすることができました。また、学校でも積極的に取り組んでいこうと思います。
- ・ こういった話し合いをもっと増やしてほしい。
- ・ 私にできることは限られますが、今回で自分ができることは分かったので頑張ります。
- ・ 本日は、本当に貴重な時間をありがとうございました。これだけで終わらず、チームとして、もっと続けてもらいたいです。
- ・ 今日の事を生徒会で話して学校で取り入れていきたい。
- ・ また、このような機会があつたらぜひ、参加したいです。
- ・ とても有意義な時間を過ごさせていただきました。

- もっと、こういうワークショップを増やして、また存在をもっと伝えてほしい。
- もっと福島について考えるようなワークショップをしたい。回数を増やしてほしい。
- もっと福島の事を知りたいと思った。
- 普段の生活ではできないような貴重な体験ができました。
- もっとこのような対話型ワークショップに参加したい。ためになるとても良い時間でした。
- 今回のように、対話式での活動に加えて、ある程度考えられた意見をもとに、県と交流するような機会もあるといいなと思った。
- 楽しく活動出来て良かったです。また、このような機会があったら参加したいです。
- 自分は「県」よ「県民性」の向上に力を入れたほうが良いと思う。
- 他校の人とする交流は、とても新鮮で面白い。
- おじいちゃん、おばあちゃんとの交流だけじゃなく、学生同士、日本に住む外国人とも交流増やした方が絶対良い。
- 更に多くの高校生と地元について話す機会を作りたい。
- 私は地方公務員に将来なりたいと思っているので、今後、福島の事を考えるうえでとても良い収穫がありました。
- またワークショップを開いて、新たな意見をまたよろしく願います。
- 初めはとても不安でしたがとても楽しく活動することが出来て良かったです。
- 近年、大企業を中心に、ユーモアのある人の目を引く面白いツイートをする流れがあり、自分はそういったものが好きです。ぜひ広報部でもやってみてください。
- 地域を見つめるとても良い機会をくださり、ありがとうございました。
- 今日、最初とても嫌だったけど、とても楽しい話し合いが出来ました。
- 普段考えることの少ない、これからの福島について考える機会をくださり、ありがとうございました。
- 最初は緊張もあったけど、何より楽しくできたのでよかった。
- 今日、このような貴重な話ができる会に参加することが出来て、とてもうれしく思います。
- 貴重な体験ができ、楽しむことができた。積極的に福島の事を考えて行動していきたい。
- 福島について、もっと考えていきます。